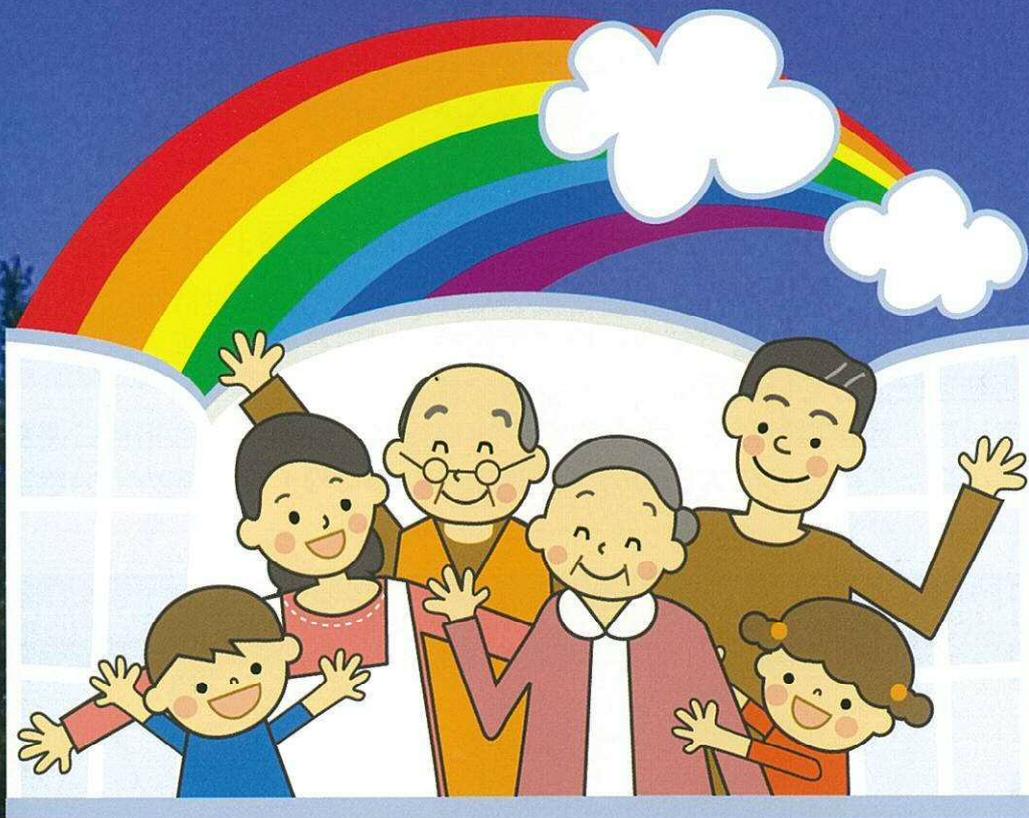


ダイジェスト版

福祉のまちづくりプラン

大田市地域福祉活動計画

— 平成21年度～28年度 —



ふれあいネットワーク

社会福祉
法人

大田市社会福祉協議会

『地域福祉活動計画』とは？

地域におけるさまざまな福祉の問題を解決するには、公共的サービスを利用するだけでは解決しないこともたくさんあります。

そこで、地域住民がお互いに支えあい、助け合うことによって解決していく取り組みが必要になってきます。こうした地域住民の取り組みを「地域福祉活動」といいます。

● 市社協と地域住民のみなさんが福祉活動を行うための具体的な計画です

大田市社会福祉協議会は地域の福祉課題の解決に向けて、地域に暮らす一人ひとりが積極的に地域づくりに関わっていくための指針となる「地域福祉活動計画」を策定しました。

● 「福祉のまちづくり」をすすめていきます

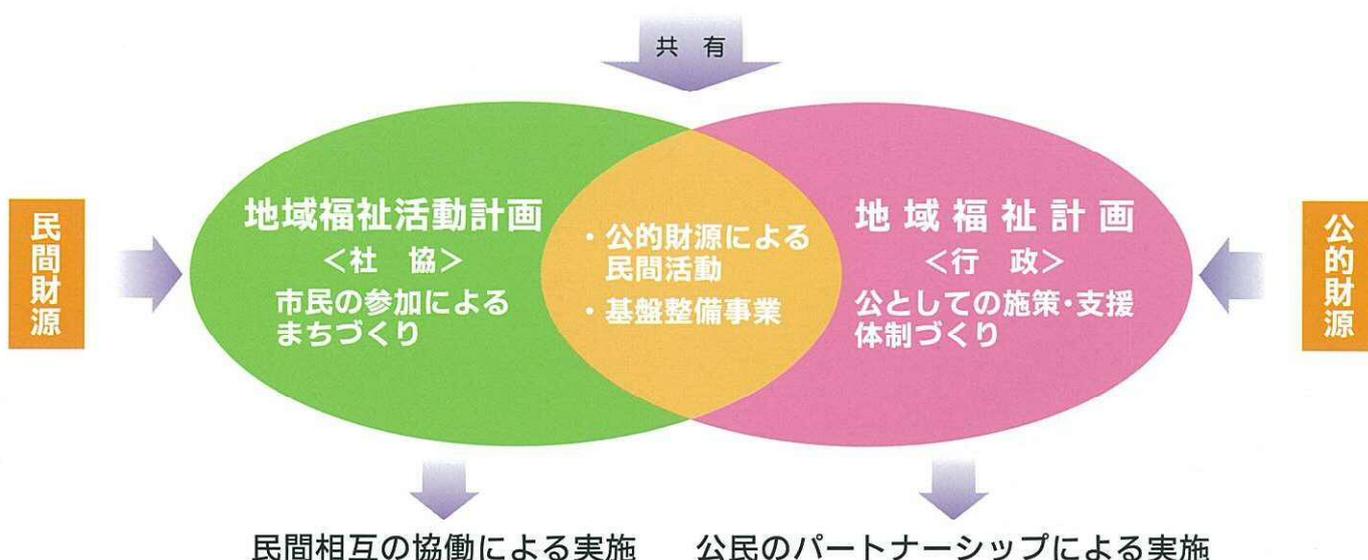
この計画では自助（自分でできること）・互助（地域でできること）・共助（地域と行政や専門機関と協力でできること）・公助（行政や専門機関ができること）が、それぞれにどのような役割を担うか、また市社会福祉協議会が市民による福祉活動をどのように支援していくのかといった方向性を示すことで、一層の「大田市の福祉のまちづくり」を推進することを目的としています。

● 「地域福祉計画」（行政計画）と「地域福祉活動計画」（社協計画）の関係

大田市では、福祉のあり方や取り組みを定めた「大田市地域福祉計画」を平成20年に策定しました。今回社会福祉協議会で策定した「大田市地域福祉活動計画」は、市民の側から具体的な地域活動を促進していく民間の行動計画です。

行政の策定した「地域福祉計画」と、この「地域福祉活動計画」は相互に連携を図りながら、車の両輪となって、ともに大田市の「福祉のまちづくり」をすすめていきます。

地域における福祉課題・社会資源の状況、地域福祉推進の方向性



基本理念

誰もが安心して暮らすことのできる 福祉のまちづくり

推進目標 1

住民参加による地域福祉活動の推進

地区社協を中心として地域にある住民主体の組織・団体等のそれぞれの立場を尊重し、計画的に活動を展開できるよう協働や連携に努めます。

- ① 地区社協を中核とした地域づくり
- ② 住民参加による小地域を基盤としてネットワーク活動
- ③ 子育て支援の推進
- ④ ふれあい・いきいきサロンの活動支援
- ⑤ 各種団体・機関・施設等との連携・協働の推進



推進目標 2

在宅生活の自立を支える活動の推進

介護保険制度や障がい者自立支援法をはじめ、大田市や市社協・事業者の適切な福祉サービスの利用促進を図り、地域社会の一員として、尊厳をもった生活を営むことのできるよう自立支援を進めます。

- ① 生活支援活動の推進
- ② 相談機能の充実
- ③ 当事者団体等への支援



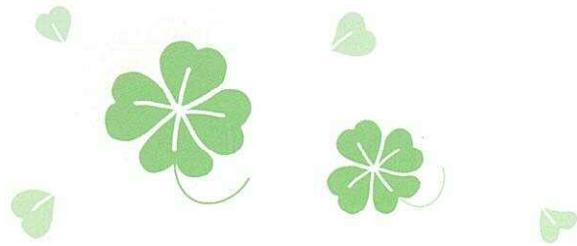
推進目標 3

ボランティア活動の推進

福祉のまちづくりをより一層推進していくため、ボランティアの育成と支援、環境づくりなど、関係機関との協働により積極的に活動を推進します。

- ① ボランティア講座の開催
- ② ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化
- ③ 災害ボランティア活動の推進





推進目標 4

福祉の心・人材の育成

地域福祉活動をより効果的に進め、新たな課題に対応していくために、日頃から地域での支えあいや助け合いの必要を地域住民に啓発するとともに、地区社協やボランティア団体等のリーダーの育成をさらに進めます。

- ① 地域福祉活動人材の育成
- ② 情報機能の強化
- ③ 福祉教育の推進
- ④ 福祉啓発の推進



推進目標 5

権利擁護の推進

日常生活自立支援事業の推進をはじめ、法人後見受任に向けた体制の整備を図り、司法書士及び医師、社会福祉士、大田市、出雲成年後見センター、地域包括支援センター等の関係機関並びに関係団体等と連携を図り法人後見業務を推進します。

- ① 日常生活自立支援事業の(福祉サービス利用支援事業)の拡充
- ② 法人後見事業の推進
- ③ 福祉サービス提供体制の整備



推進目標 6

市社協体制の強化

住民に市社協の活動が十分理解され、誰でも気軽に訪れることができる市社協を目指します。

- ① 住民に開かれた市社協づくり
- ② 事業推進体制の強化
- ③ 職員の専門性の向上
- ④ 財源の確保
- ⑤ 苦情解決第三者委員会の充実
- ⑥ 組織体制の把握と見直し

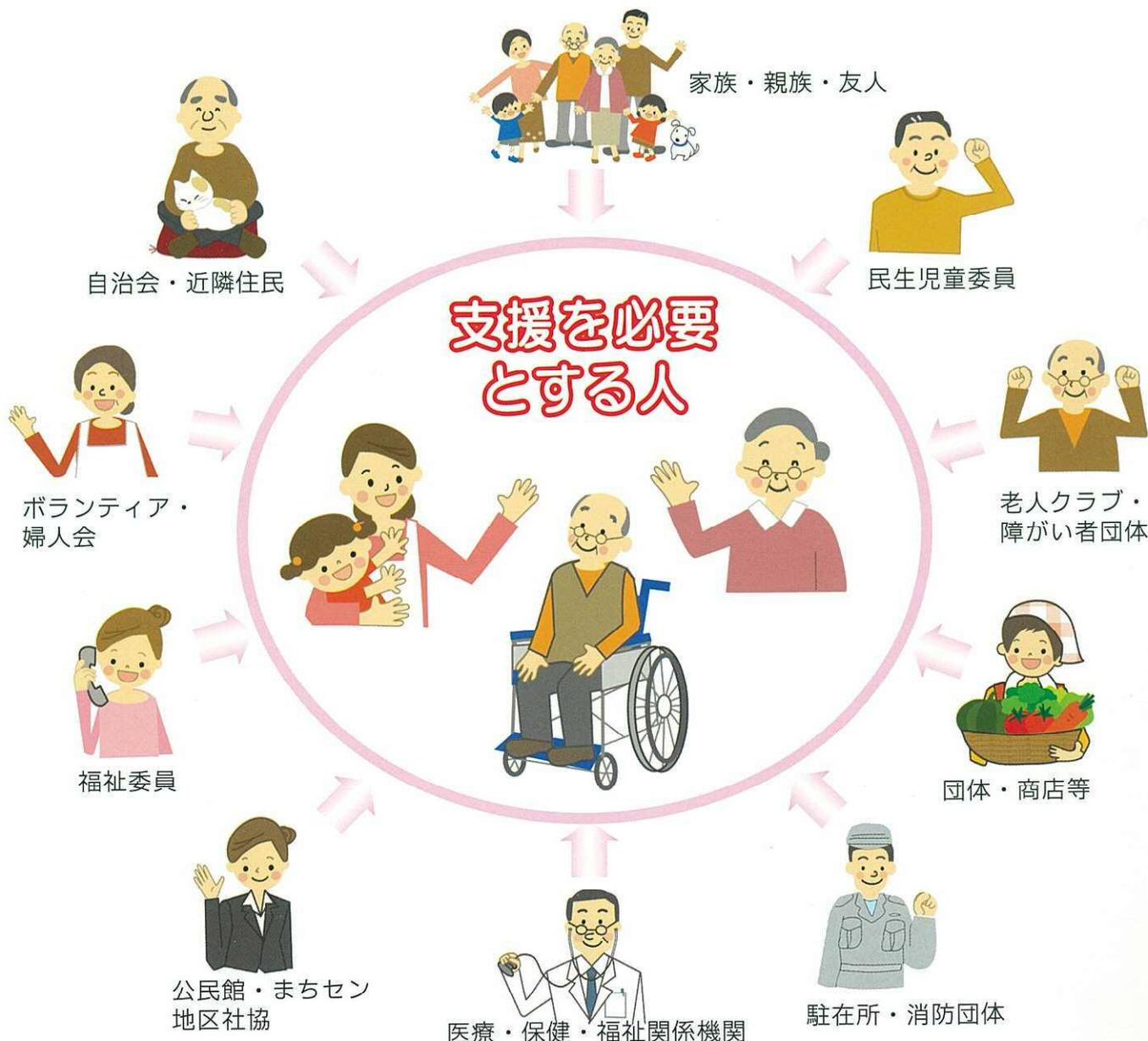


誰もが安心して暮らすことのできる 福祉のまちづくりをめざして

私たちは、誰もが住みなれた地域でいつまでも暮らしていきたいと願っています。
これからの社会福祉は、全ての人々が住み慣れた地域で、障がいの有無や年齢に関係なく、尊厳をもち安心していきいきと暮らすことができるよう、地域全体で支えあう社会が求められています。

小地域ネットワーク活動の推進

～地域の様々な方を様々な方が支えあっています～
(安否確認・見守り活動)



地域の中核【地区社協】の活動

地区社協（地区社会福祉協議会）は、地域の住民同士が地域の中で助け合いやボランティア活動の輪を広げ、地域の福祉活動を進めていくために設置された組織です。

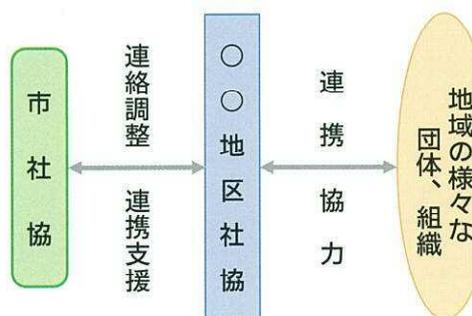
大田市には現在27の地区社協があり、それぞれ地域に根ざした福祉活動を展開しています。

【地区社協の活動】

生活上のいろいろな問題や課題やニーズを地域の問題としてとらえ、問題の解決に向けて地域の様々な団体と連携を図り、ともに活動していきます。

【地区社協と市社協との関係】

地区内の福祉課題やニーズに対して自発的に取り組む地区社協に対し、市社協は地区社協の諸活動が充実、発展するように必要財政的支援をはじめ、情報提供、地区社協相互間及び市社協との連絡調整や組織体制の支援をします。



この計画に関するお問い合わせのほか

- 福祉の制度やサービスについて分からないこと
- 毎日の生活でお困りのこと
- 地域での福祉活動・ボランティア活動に関すること

……など

いつでもお気軽にご相談下さい。



大田市地域福祉活動計画

ダイジェスト版

社会福祉
法人

大田市社会福祉協議会

〒694-0064 大田市大田町大田イ128

電話:0854-82-0091 FAX:0854-82-9960